

# 事務事業評価（確認書）

1頁  
平成30年 6月 8日  
15時56分29秒作成

評価年度	平成29年度	所属	5002040200	青少年室青少年クリエイティブセンター
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

## <基本事項>

事務事業番号	01003	青少年クリエイティブセンター施設管理事業			
章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり			
節	01	学ぶ意欲と主体性を育てるまちづくり			
細節	40	青少年の居場所づくり			
予算事業	10984	01	10	05 07 02 01 01	施設管理事業（青少年クリエイティブセンター費）
所属長	一之瀬 和彦		担当者（内線）辻本（1P733-12）		
根拠法令等	吹田市立青少年クリエイティブセンター条例				
事業開始年度	平成14年度	直近の改正	平成27年度		
改正内容	施設使用料の見直し				
市単独事業区分	<input checked="" type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乘せ、横出し等あり） <input type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）				

## <事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	青少年クリエイティブセンター		
目標	安全で活動しやすい施設環境の維持管理。		
結果	青少年の健やかな成長と人権感覚豊かな青少年の育成を目指す事業や活動場所としての機能を果たし、施設利用者に安心安全な居場所を提供。		
事業概要	施設や設備の維持管理に係る清掃業務、警備業務、空調設備、エレベーターなどの保守点検委託業務、備品等の管理修繕、運営審議会の開催、運動広場の維持管理、施設利用者の保険加入、公共料金や消耗品購入、非常勤職員報酬支出等の施設管理経費に係る経理事務などを行います。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	北大阪興業株式会社
		委託先②	鳳産業株式会社
		委託先③	大阪瓦斯株式会社ほか
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容	清掃、警備、設備点検等
交付先①			
交付先②			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

## <事業費>

(千円)

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	50,834	47,441	47,811	40,064	44,133
人件費職員数(人)	1.40	1.40	1.40	1.40	1.40
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	11,438	11,060	11,273	11,273	11,123
総事業費(A+B)	62,272	58,501	59,084	51,337	55,256
特定財源(C)	64	47	50	52	37
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	64	47	50	52	37
市負担(D)	62,208	58,454	59,034	51,285	55,219
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	62,208	58,454	59,034	51,285	55,219
財源計(C+D)	62,272	58,501	59,084	51,337	55,256

所属	青少年室青少年クリエイティブセンター
事務事業番号	01003

2頁  
平成30年 6月 8日  
15時56分29秒作成

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	主催事業の参加者数	人	目標値	11,454.00	10,392.00	10,392.00
			実績値	8,636.00	8,702.00	
			達成度(%)	75.40	83.70	
目標値の積算方法	平成27年度実績(9,037人)に対して15%増加	単位当たりコスト	総事業費(千円)	6.77	5.90	
			一般財源(千円)	6.77	5.89	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	施設利用者数	人	目標値	73,000.00	68,000.00	68,000.00
			実績値	66,056.00	75,854.00	
			達成度(%)	90.50	111.60	
目標値の積算方法	平成27年度実績(58,887人)に対して15%増加	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.89	0.68	
			一般財源(千円)	0.88	0.68	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は適切である。(理由: 事業費総額は下がっているが、入札差金や空調設備改修の効果により施設管理委託料が抑えられたため。)</p> <p>【指標数値の評価】 指標数値の推移、主催事業・施設利用の参加者数だけでは目標値を下回っているが、実績値が昨年度を上回っていることを踏まえると、事業成果は現状で妥当であり改善の余地はない。</p> <p>【今後の方向性】 事業費等の分析や指標数値の分析を踏まえると、目標とする効果が出ており事業費も妥当であるため継続すべきである。</p>

## 事務事業分析シート

所属名	青少年クリエイティブセンター	事業名	青少年クリエイティブセンター施設管理事業	事業区分	その他
事務事業番号	01003				

## 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

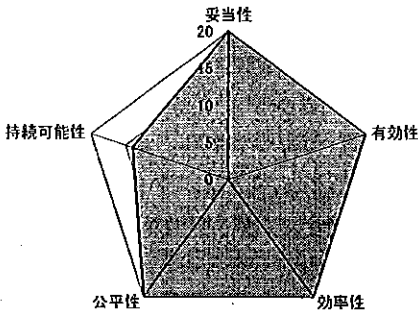
評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	20	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(6点)	5点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	20	④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	20	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		a. 事業手法の検討や事務改善に取り組む、具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	14	②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
		④公平性を確保するための取組をしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(6点)	5点
評価点合計 (100点満点)	94	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1点
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。			
b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点		
		← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	青少年クリエイティブセンター	事務事業番号	01003
-----	----------------	--------	-------

## 2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

## 3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>妥当性・効率性            青少年クリエイティブセンターの設置目的である「すべての人権問題と社会的課題の克服を青少年が自らの課題と受け止め、その解決を目指す人間性豊かな青少年の育成を行う」ために様々な事業や取組みを行っており、青少年の人権教育の拠点施設としての役割がある。センター利用者や事業参加者が安心かつ安全に施設を利用でき、また事業運営に支障が出ないよう適切な施設管理に努める必要がある。</p>		

## 4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

--

# 事務事業評価（確認書）

1頁  
平成30年 6月 8日  
15時27分53秒作成

評価年度	平成29年度	所属	5002040200	青少年室青少年クリエイティブセンター
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

## <基本事項>

事務事業番号	01004	青少年クリエイティブセンター施設運営事業		
章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり		
節	01	学ぶ意欲と主体性を育てるまちづくり		
細節	40	青少年の居場所づくり		
予算事業	10985	01	10	05 07 03 01 01 施設運営事業（青少年クリエイティブセンター費）
所属長	一之瀬 和彦		担当者（内線）辻本（1P733-12）	
根拠法令等	吹田市立青少年クリエイティブセンター条例			
事業開始年度	平成14年度	直近の改正	平成27年度	
改正内容	施設使用料の見直し			
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乘せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）			

## <事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	0歳～29歳		
目標	青少年の学習活動と保護者の子育て等を支援し、地域における青少年の健全育成と人権教育の推進を図る。		
結果	青少年の健やかな成長と人権感覚豊かな青少年の育成。		
事業概要	青少年の学習活動と保護者の子育て等を支援し、青少年の健全育成と人権教育の推進を図るため、①学習活動の推進（体験活動事業、養成事業、学習支援事業）、②交流の推進（利用者交流事業、教室事業、自主活動支援事業）、③子育て支援の推進（人権講座、相談事業、子どもすこやか広場事業）、④情報の提供（情報収集提供、広報誌の発行）を行います。		
実施方法	■ 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容	
交付先①			
交付先②			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

## <事業費>

(千円)

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	14,055	13,342	14,067	13,611	14,039
人件費職員数(人)	3.50	3.50	3.50	3.50	3.50
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	28,595	27,650	28,182	28,182	27,808
総事業費(A+B)	42,650	40,992	42,249	41,793	41,847
特定財源(C)	118	132	113	147	108
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	118	132	113	147	108
市負担(D)	42,532	40,860	42,136	41,646	41,739
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	42,532	40,860	42,136	41,646	41,739
財源計(C+D)	42,650	40,992	42,249	41,793	41,847

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	主催事業の参加者数	人	目標値	11,454.00	10,392.00	10,392.00
			実績値	8,636.00	8,702.00	
			達成度(%)	75.40	83.70	
目標値の積算方法	平成27年度実績(9,037人)に対して15%増加	単位当たりコスト	総事業費(千円)	4.75	4.80	
			一般財源(千円)	4.73	4.79	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	施設利用者数	人	目標値	73,000.00	68,000.00	0.00
			実績値	66,056.00	75,854.00	
			達成度(%)	90.50	111.60	
目標値の積算方法	平成27年度実績(58,887人)に対して15%増加	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.62	0.55	
			一般財源(千円)	0.62	0.55	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	目標
成果内容	達成状況

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は適切である。(理由:施設利用や事業実績は昨年を上回り青少年育成のための適切な運営は行えているため。)</p> <p>【指標数値の評価】 指標数値の推移、主催事業の参加者数は目標値を下回っているが、施設利用者数が目標値を大きく上回っている実績値については昨年度を上回っていることを踏まえると、事業成果は現状で妥当であり改善の余地はない。</p> <p>【今後の方向性】 事業費等の分析や指標数値の分析を踏まえると、目標とする効果が出ており事業費も妥当であるため継続すべきである。</p>

## 事務事業分析シート

所属名	青少年クリエイティブセンター	事業名	青少年クリエイティブセンター施設運営事業	事業区分	その他
事務事業番号	01004				

## 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3点
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要ない事業である。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	94	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p><b>妥当性</b>            青少年クリエイティブセンターの設置目的である「すべての人権問題と社会的課題の克服を青少年が自らの課題と受け止め、その解決を目指す人間性豊かな青少年の育成を行う」ために様々な事業や取組みを行っており、青少年の人権教育の拠点施設としての役割がある。センターへ行けば何かを学べ、交流できる期待感を高めるよう事業を企画運営し、様々な人がセンターを起点に交流し、ともに学び生きる力を育む努力を継続する必要がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)



# 事務事業評価（確認書）

1頁  
平成30年 6月 8日  
15時52分04秒作成

評価年度	平成29年度	所属	5002040200	青少年室青少年クリエイティブセンター
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

## <基本事項>

事務事業番号	01384	青少年クリエイティブセンター施設改修事業			
章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり			
節	01	学ぶ意欲と主体性を育てるまちづくり			
細節	40	青少年の居場所づくり			
予算事業	11297	01	10	05 07 04 01 01	施設改修事業（青少年クリエイティブセンター費）
所属長	一之瀬 和彦		担当者（内線）辻本（1P733-12）		
根拠法令等	吹田市立青少年クリエイティブセンター条例				
事業開始年度	平成14年度	直近の改正	平成27年度		
改正内容	施設使用料の見直し				
市単独事業区分	<input checked="" type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乘せ、横出し等あり） <input type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）				

## <事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input checked="" type="radio"/> 建設事業 <input type="radio"/> その他		
対象	青少年クリエイティブセンター		
目標	安全で活動しやすい施設環境の維持管理。		
結果	青少年の健やかな成長と人権感覚豊かな青少年の育成を目指す事業や活動場所としての機能を果たし、施設利用者に安心安全な居場所を提供。		
事業概要	施設利用者の安全性を確保するため、施設や設備の老朽化に対する改修を行います。		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容	
交付先①			
交付先②			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

## <事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	79,377	72,188	31,072	16,049	30,358
人件費職員数(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.10
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	0	0	0	0	795
総事業費(A+B)	79,377	72,188	31,072	16,049	31,153
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	79,377	72,188	31,072	16,049	31,153
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	79,377	72,188	31,072	16,049	31,153
財源計(C+D)	79,377	72,188	31,072	16,049	31,153

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	なし	目標	施設や設備の老朽化に対して必要な改修を行う。
成果内容	なし	達成状況	老朽化が著しかった空調設備を平成28年度に更新した。引き続き経年劣化の著しい箇所に対して予算措置を講じ対策する。

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は適切である。(理由:必要とされる施設等の改修・整備を適宜行っているため。)</p> <p>【進捗状況の評価】 現状では、平成28年度に老朽化が著しかった空調設備を29年度には防水工事を行い、実施計画策定当初のスケジュールと比較して予定通り順調に進んでいる。今後現在のペースで事業を実施すると、当初の計画通り実施される見込みである。</p> <p>【今後の方向性】 事業費等の分析や指標数値の分析を踏まえると、目標とする効果が出ており事業費も妥当であるため継続すべきである。青少年クリエイティブセンターは施設建設後30年以上が経過し施設や設備の老朽化が進んでいる。施設利用者の安全性を確保し、センターの設置目的である「すべての人権問題と社会的課題の克服を青少年が自ら</p>

## 事務事業分析シート

所属名	青少年クリエイティブセンター	事業名	青少年クリエイティブセンター施設改修事業	事業区分	建設事業
事務事業番号	01384				

## 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点			
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。			
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点		
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。			
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点		
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。			
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点		
(2) 有効性 (20点)	20	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。			
		b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点		
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。			
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5点		
		②事業の目的と受益者が一致していますか。			
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点		
(3) 効率性 (20点)	20	③事業は目標どおりに進捗していますか。			
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点		
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。			
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点		
		①単位当たりコストは適正ですか。			
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点		
(4) 公平性 (20点)	20	②迅速なサービスの提供に努めていますか。			
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5点		
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。			
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点		
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。			
		a. 事業手法の検討や事務改善に取り組む、具体的な成果を上げている。(5点)	5点		
(5) 持続可能性 (20点)	6	①サービスの対象範囲は適正ですか。			
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点		
		②サービスの水準は適正ですか。			
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点		
		③適正な受益者負担を求めていますか。			
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点		
(5) 持続可能性 (20点)	6	④公平性を確保するための取組をしていますか。			
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(6点)	5点		
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。			
		a. 事業費、市負担とも大幅に増大している。(1点)	1点		
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。			
		c. 事業費、市負担とも増大し、それに見合う財源の確保も見込めない。(1点)	1点		
(5) 持続可能性 (20点)	6	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。			
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1点		
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。			
		b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点		
		評価点合計 (100点満点)	84	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	青少年クリエイティブセンター	事務事業番号	01384
-----	----------------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>妥当性・効率性                      青少年クリエイティブセンターの設置目的である「すべての人権問題と社会的課題の克服を青少年が自らの課題と受け止め、その解決を目指す人間性豊かな青少年の育成を行う」ために様々な事業や取組みを行っており、青少年の人権教育の拠点施設としての役割がある。                      築30年を超えているため施設や設備の老朽化・経年劣化に適宜対応する必要がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)